

# 970世帯。

## それは、風車1基で 支えることのできる暮らしの数。

自然の力を活用した発電に注目が集まっています。

たとえば風力発電。いま、一般的な大きさの風車1基で、  
およそ970世帯分<sup>※1</sup>の電気をつくることができます。

風力や太陽光など自然の力を活用した発電は、  
天候によって発電量が左右されるという課題もありますが、  
地球温暖化問題への対応や、  
石油・石炭などの貴重なエネルギー資源の節約の面から  
期待される発電方法の一つです。

九州電力では、風力と太陽光発電について、  
2017年度までに現在の約3倍<sup>※2</sup>の、  
合わせて200万kWの導入に向けて取り組んでいます。

私たちは、  
次の世代へと引き継ぐことのできる電気のあり方について考え、  
低炭素社会の実現に挑戦していきます。

自然エネルギーをもっと。  
九州電力は、歩み続けます。



ずっと先まで、明るくしたい。